

第4回船橋市教育振興基本計画（後期基本計画） 策定委員会全体会 会議録

日時：令和6年7月23日（火）14時～14時45分

場所：船橋市役所6階 602会議室

出席者

【委員】

草野委員（委員長）、河上委員（副委員長）、村木委員、渡邊委員、
村田委員、土井委員、高橋委員、神田委員、石橋委員、中里委員
（欠席：佐原委員、八重樫委員、近藤委員）

【庁内プロジェクト委員】

長谷川教育総務課長補佐、高橋施設課長補佐、有村学務課長補佐、
森指導課長補佐、藤澤保健体育課長補佐、山下児童・生徒防犯安全対策室長、
小川総合教育センター副所長、金子教育支援室長、
小野社会教育課長補佐、藤巻文化課長補佐、宮崎青少年課長補佐、
原田生涯スポーツ課スポーツ振興係長、中柴高根台公民館長補佐、
河野西図書館長補佐、石井市民文化ホール館長補佐、山本郷土資料館長補佐
（欠席：鈴木市立高等学校事務長、倉前青少年センター所長補佐）

【事務局】

鈴木管理部長、田島教育総務課長、島田教育総務課長補佐、
樋口教育総務課企画係長、衛藤教育総務課主任主事

傍聴者：1人

【草野委員長】

それでは、皆様、定刻となりましたので、「第4回船橋市教育振興基本計画（後期基本計画）策定委員会」を開催いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、本日の出欠状況について、事務局から報告願います。

【事務局】

本日、佐原委員、八重樫委員、近藤委員から欠席のご連絡を受けています。なお、策定委員会設置要綱では、委員の半数以上の出席で会議を開くことができることとなっておりますので、会議の開催要件を満たしていることをご報告いたします。

【草野委員長】

ありがとうございます。次に、会議の公開及び傍聴人について、事務局から報告願います。

【事務局】

本委員会は、船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき公開となっております。本日は、1人から傍聴の申し出がありましたので、入室させるものとしてよろしいでしょうか。

【草野委員長】

傍聴人を入室させてください。

【草野委員長】

傍聴人の方は、傍聴券に記載された注意事項を遵守していただきますよう、お願いいたします。

それでは、次第に沿って進めてまいります。

まず「次第の２」について、資料１として事務局が作成した会議録が配付されています。委員の皆様には、事前に会議録の内容をご確認いただいているかと思いますが、改めて、疑義等はございますか。

【草野委員長】

特に疑義がないようですので、この会議録で決定としたいと思います。

次に、「次第の３ 計画書修正原案の協議」についてですが、当初の予定通り本日からは全体会での協議としたいと思います。

それでは、事務局から前回までの協議における主な意見とその対応について、説明願います。

【事務局】

庁内プロジェクト委員会委員長の長谷川でございます。

私からは、前回までの各専門部会で頂いた主なご意見とその対応について、ご説明させていただきます。

まずは資料２、こちらが前回までの各専門部会での協議で頂いたご意見について、庁内プロジェクト委員会で検討を行い、そのご意見を踏まえ、検討した計画書の修正原案でございます。

次に資料３、こちらの表は修正原案のページに沿って、これまでの専門部会で出た意見とその対応をまとめたものとなっております。

この資料２と資料３を用いて、主なご意見とそのご意見について検討を行った原案の箇所につきまして、説明させていただきます。

修正原案の３５ページ下段の主な事務事業及び資料３の一番左の通し番号１をご覧ください。

成果指標の「現状」のところに、「（評価時期）」みたいに記載した方が理解しやすいかもしれないとのご意見を頂き、網掛けの部分の通り「（評価年度）」と表記し、全ての成果指標に反映させております。

次に、修正原案の３４ページ下段の網掛けの部分をご覧ください。資料３の通し番号

3の「生涯学習自体の説明を書いておくべきでは」とのご意見について、網掛け部分の通り生涯学習について脚注を追加しました。

次に、少しページが飛びますが修正原案の61ページ下段をご覧ください。資料3の通し番号6で「地域学校協働活動推進員」について、注釈（脚注）を付けてほしいとのご意見がありましたので、61ページ下段の網掛けの部分の通り脚注を追加しました。

次に、修正原案の66ページをご覧ください。資料3の2ページ目、通し番号8で、公民館として保育園との連携というのをここに入れてもいいと思うとのご意見を頂き、事務事業概要に「福祉部門やその他関係機関と連携し」という文言を追記しました。

次に修正原案の67ページをご覧ください。資料3の通し番号9「現状、課題及び施策の内容」の文章の中で、「わかる喜びや達成感を感じる授業」という表現の「達成感を感じる」は「達成感を味わう」等の言葉のほうがいいのではないかとのご意見について、「達成感を味わう」に修正しました。

次に修正原案の78ページをご覧ください。資料3の左の通し番号11「現状、課題及び施策の内容」の中の「教科横断的な学習」は学習指導要領だと「教科等横断的な学習」になると思うので、等を入れたほうがいいのではないかとのご意見について、「教科等横断的な学習」に修正しました。

次に、修正原案の82ページをご覧ください。資料3の通し番号12の、「自然体験活動が急にここに出てきた理由がよくわからない。文言を精査してもいいのではないか。」とのご意見につきましては、「現状、課題及び施策の内容」の文章の構成を見直し、網掛け箇所にて修正しております。

次に、修正原案の84ページをご覧ください。資料3の通し番号13の「指標が学級活動における話し合い活動となっているが、それぞれの教科の授業の中でも対話というのが非常に大切になっていて、他の教科も含めて指標をたててはどうか。」とのご意見については、事務事業名を、従前の「学級活動の中での話し合い活動の充実」から「各教科等の学習における話し合い活動の充実」に修正しております。

次に、修正原案の85ページをご覧ください。資料3の通し番号14の「67ページの保護者アンケートの結果で情報モラルを高める教育が上位に来ていて、保護者の方が求めていることがわかることからアンケート参照としたほうがいいのではないか。」とのご意見につきましては、「現状、課題及び施策の内容」の網掛け部分にてアンケートを参照した文章に修正しました。

また、資料3の通し番号15の「情報に関する教育は、学校だけで行うものではなく保護者も一緒に行うものであり、学校だけで行うと聞こえる文言になっているのが気になる。」とのご意見についても、「保護者と情報を共有することで、安全かつ適切に情報を活用することができるよう努めます」という文言をさきほどの網掛け部分の最後2行に記載しました。

次に、修正原案の87ページをご覧ください。資料3の3ページ、通し番号16の

「スクールソーシャルワーカーのほうの満足度に関するアンケートとあるが、何のアンケートなのかを分かるようにしてはどうか。」のご意見について、成果指標名に「派遣申請を受理している学校を対象にした」を加えました。

次に、修正原案の８８ページをご覧ください。資料３では通し番号１７です。「楽器貸与事業の割合は学校の数なのか楽器の数なのかを分かりやすくしてはどうか。」とのご意見についてですが、成果指標を「希望校に貸与した割合」から「希望した学校のうち貸与した学校の割合」に修正しました。

次に、修正原案９１ページをご覧ください。資料３では通し番号１９です。「本文３行目の「機能的特性」とは何か分かりにくいと、注釈を入れてはどうか。」とのご意見については、下段の網掛け部分の通り脚注を追加しました。

次に、修正原案９２ページをご覧ください。資料３では通し番号２０です。「体力向上推進委員会が教育委員会の中にあるのかと思ってしまうので、「各学校の」と入れた方が分かりやすいのではないか。」とのご意見についてですが、成果指標の網掛け部分の通り「各学校の」を追記しました。

次に、修正原案の９４ページをご覧ください。資料３では通し番号２３です。「成果指標の学校保健委員会の実施率というのが、何回やったのかなのか全部の学校なのかとかが分かりづらいのではないか。」とのご意見について、(各校年間１回)という説明を追記しました。

次に、修正原案の９５ページをご覧ください。資料３では通し番号２４です。「現状、課題及び施策の内容」に「食材を通して、ふるさと船橋への思いを育む（船橋を愛する）等の文言を入れたらいいのではないか」とのご意見について、「食材を通して「ふるさと船橋」への思いを育みます」という文章を最後の部分に追加しています。

次に、修正原案の９６ページ下段をご覧ください。資料３では通し番号２５です。成果指標の「満足度というのは何のことを言っているかという注釈を入れることで分かりやすくなるのではないか」とのご意見について、網掛け部分の通り脚注を追加しました。

次に、修正原案の９７ページをご覧ください。資料３では４ページの通し番号２７です。「本文３行目には、「千葉県・千葉市教員等育成指標」及び「千葉県教職員研修体系」を踏まえた、とあるので、事務事業の表の概要の冒頭も２つにそろえたほうが良いのではないか。」とのご意見についてですが、事務事業の概要も本文の表記に合わせ「及び「千葉県教職員研修体系」」を追加しました。

次に、修正原案の１００ページ下段をご覧ください。資料３では通し番号２９です。「事務事業名の「窓口の充実」と、成果指標の「要請訪問」がつながりにくいのではないか。」とのご意見につきまして、事務事業名を「教職員が気軽に相談できる窓口の充実」から「教職員が気軽に相談できる体制の充実」に修正しました。

次に、修正原案の１０１ページをご覧ください。資料３では通し番号３０です。「就学相談の充実」の成果指標について、他の成果指標では、「アンケートの満足

度」という記載があり、アンケートを取るのであれば、他の箇所も含めて表記を統一したほうが良い。」とのご意見がありましたので、「アンケート」を追記しました。

次に、修正原案 106 ページをご覧ください。資料 3 では 5 ページの通し番号 35 です。「成果指標の現状についての吹き出しで、「令和 5 年度末に割合を出した上で」とあるが、小学校は令和 6 年度から始まったので、中学校は 5 年度で別々に現状値を持ってくるのか、双方 6 年度とするのか」とのご意見についてですが、小・中共に令和 6 年度の数値に合わせる予定です。

また、資料 3 に記載しておりませんが、上段の施策名や成果指標に網掛けで校内教育支援センターと修正しております。こちらは修正前に校内サポートルームと表記しておりましたが、105 ページのサポートルームと混同しやすいため、校内教育支援センターに修正しております。

次に、修正原案の 107 ページをご覧ください。資料 3 では通し番号 36 です。「現状、課題及び施策の内容」の「3 段落目のところ、ワールドルームの設置は「平成 19 年度」、オンラインのほうは「令和 3 年」となっているが、年度なのか、年なのか、統一を検討してはどうか」とのご意見については、網掛け部分の通り「年度」に統一しました。

次に、修正原案の 109 ページをご覧ください。資料 3 では通し番号 39 です。「原案作成時にはなかった宮本中の北校舎も建替の設計を今年度実施していく。今後改築が増えていくが、そうしたものも追加していくべきなのか、後期の計画の途中で完了するようなものをあえて掲載する必要があるのか。」とのご意見についてですが、掲載する必要がないと考えるため、主な事務事業「体育館外壁・屋根改修工事」の下段に掲載していた、事務事業「海神中の北東校舎改築工事」を削除しました。

次に、同じく修正原案 109 ページをご覧ください。資料 3 では通し番号 40 です。「現状、課題及び施策の内容」冒頭の「市立小・中・特別支援・高等学校」という表記、他のページには高等学校が入っていなかったりしているが、違いがないならそろえたほうが良いので確認が必要。」とのご意見についてですが、事務事業概要を変更し、他のページも「市立小・中・特別支援・高等学校」に統一しました。

次に、修正原案の 112 ページをご覧ください。資料 3 の 6 ページ、通し番号 44 の「現状、課題及び施策の内容」の「1 行目の「FAX 配信」について、文科省で、令和 6 年度中に学校のファクスを全部廃止するというのが出ていて、今年度中に、何か動きがあれば、この文言は修正する必要がある可能性があるので、この文言は修正する必要がある」とのご意見がありましたので、「FAX 配信等」に修正しました。

次に、修正原案の 113 ページをご覧ください。資料 3 の通し番号 46 です。こちらはご意見を頂いた箇所ではありませんが、後期基本計画期間中に本市の 1 人 1 台端末の更新を迎えるにあたり、端末の利活用の促進や、そのために必要な整備等を内容とする公立学校情報機器整備事業計画を策定・公表することが補助金交付要件となることが国

から示されたため、事務局にて文章全体を修正しております。

次に、修正原案 114 ページをご覧ください。資料 3 の通し番号 47 の「接続の研修は年に 1 回か 2 回だけであり、それで接続が図れているというところは、ちょっと弱いので成果指標の再検討が必要なのでは」とのご意見について、「幼稚園等との子供同士の交流活動を行った小学校の割合」及び「「スタートカリキュラム」を作成・実施した小学校の割合」を新たに成果指標として追加しました。また、通し番号 48 の「スタートカリキュラムは分かりづらいので注釈が必要ではないか」とのご意見については、脚注を追加しました。

次に、修正原案 115 ページ「現状、課題及び施策の内容」の中段あたりをご覧ください。資料 3 の 7 ページ、通し番号 50 の「令和 3 年の新設と令和 5 年の統合の話が載っているが、これだけを見ると、新設や総合がどんどん進むのかと捉えてしまわないか。学区の見直し等の記載も検討してはどうか」とのご意見について、「学区の見直し」を追加しました。

続きまして修正原案の 116 ページをご覧ください。資料 3 の通し番号 53 の「成果指標の「改善率」とは、何をもって改善というのがちょっと分かりづらい。どうなったら改善したというのか数字で表すのは難しいと感じた」というご意見については、成果指標を、「学校評価に基づく学校運営の改善率」から「学校評価で学校運営の改善について肯定的に回答した学校の割合」に修正しております。

次に、修正原案の 117 ページをご覧ください。資料 3 の通し番号 56 の「市立船橋高等学校の表記について、他に市立高等学校という記載もあったので文言の統一をすべき」とのご意見について、他の学校と併記する際に「市立高等学校」と記載しており、ここでは単独表記で、かつ施策名を「市立船橋高等学校の充実」としていることから、文章もそのように表記しています。また、1 人 1 台端末や国際教養コースの新設についても記載してほしいのご意見がありましたので、それらについて網掛け部分に追記しております。

最後に、資料 3 の 8 ページ、通し番号 57 の進路実現に向けた α コースというコースの進展についても記載してもらいたいのご意見がありましたので、同様に追記しております。

主な意見とその対応の説明は以上となりますが、そのほかにも時間の関係上ご紹介できなかった修正点や修正を行わなかった理由も一覧表に載せてございますので、ご参照頂きますようお願いいたします。以上です。

【草野委員長】

ありがとうございます。それでは協議に移りたいと思います。

今の説明にあった部分や、それ以外でも計画書の修正原案について何かご意見、ご質問等がございますか。なお、発言については、記録の都合上、発言の前にお名前をお願い

いたします。

【金子教育支援室長】

教育支援室長の金子でございます。

修正のところでは漏れてしまっていたのですが、教育支援室とりまとめの101ページの主な事務事業及び成果指標の事務事業「就学相談の充実」の事務事業概要の中段で、就学指導委員会（教育支援委員会）となっているのですが、昨年度までは就学指導委員会と言っていたのですが、今年度からは教育支援委員会となりましたので、就学指導委員会を削除して教育支援委員会を開催し適切な就学を支援すると修正したいと思います。

【草野委員長】

101ページの事務事業概要の文書の箇所ですが、就学指導委員会を削除して教育支援委員会を開催しと改めるということですね。

他にございますか。

【中里委員】

三山中学校の中里です。

89ページの施策2文化クラブ活動の振興について、成果指標の現状でR5を180校、R11を150校としていて、目標のR11の数字が現状のR5を下回っているのですがよろしいでしょうか。

【草野委員長】

今のご質問に対してはいかがでしょうか。

【森指導課長補佐】

指導課でございます。

目標値の設定ですが、現状の180校より上げていくことがはたしていいのかというところで指導課の中でも議論がありました。この数が膨れ上がっていくのがこの事務事業に対して成果があがったと言えるものでもないということから、現状の150校くらいがベターだと判断しこの数字に落ち着いているところでございます。

昨年度は180校でしたが今年度来年度以降、学校数は増減したりするため、150校を目安にさせてもらえればと思い数値を設定しているところでございます。

【草野委員長】

今の指導課からのご説明でよろしいでしょうか。

【草野委員長】

他にご意見、ご質問ありますでしょうか。

【神田委員】

船橋特別支援学校神田です。

今と同じ箇所の成果指標の年間申請延学校数の延と入っているのはどういう意味ですか。

【森指導課長補佐】

延べ学校数の意味だと思います。表記が分かりづらいようであれば、漢字ではなくひらがなで書く等も考えます。

【神田委員】

ありがとうございます。

【草野委員長】

今出た意見以外にはないということによろしいでしょうか。

これまでの専門部会での議論も含めて、意見がある程度出尽くしたようですので、本日出た意見に基づいて、庁内プロジェクト委員会で検討して、計画書の原案を修正をお願いします。

それでは、今後の流れについて事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

連絡事項は2つございます。

まず、1点目ですが、次回の第5回目の会議でございますが、本日委員の皆様からご提出頂いた日程調整表を踏まえ、8月下旬～9月上旬頃の開催を検討しております。委員の皆様へ改めて後日、開催スケジュールのご連絡をさせていただきます。

2点目でございます。本日の会議の会議録につきまして、原稿ができ次第、またご連絡をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

連絡事項は以上でございます。

お車でお越しの方がいらっしゃいましたら、駐車券をご用意しておりますので、お声がけください。以上でございます。

【草野委員長】

ありがとうございました。

これで第4回船橋市教育振興基本計画(後期基本計画)策定委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。